

緑化だより

No.159 令和2年4月号



タチツボスマイレ

- 季節の花(カタクリ)
- 昆虫の話(地味な春一番・テングチョウ)
- 小さな世界こけ
(コケが観察できる場所(5))
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

緑化の未来

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811

FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>



季節の花

カタクリ

「ものゝふの 八十(やそ)娘子(おとめ)らが 汲(く)み乱(まが)ふ
寺井(てらゐ)の上の堅香子(かたかご)の花」

大伴家持 万葉集 卷19:4143

これを訳しますと

(朝廷にお仕えするたくさんの少女たちが、入り乱れて水を汲んでいるような姿で

寺井の上に咲いている堅香子(かたかご)の花、なんて可憐なことだろう)

この歌は、天平勝宝2年(750年)3月2日、家持が越中(富山県)に赴任していたときに詠まれました。

カタクリは古語では「堅香子(かたかご)」と呼ばれています。

地下茎は深く、鱗茎の姿がクリの片割れに似ている事から「片栗」と名づけられました。

カタクリはユリ科の多年草です。

北海道、本州、四国、朝鮮半島の山野の林内に自生しています。

花は、種子から7~8年目に一個、早春に薄紫色の花を下向きにつけます。開花期間が2週間程と短いため「スプリング・エフェメラル」(春の妖精)と呼ばれています。

地下の鱗茎からは、天日に干し良質のデンプンが取れます。これが片栗粉です。

片栗粉は、江戸時代には播磨国(兵庫県)、越前国(福井県)で生産され、特に大和国(奈良県)の宇陀地方のものは名産品とされ、幕府に献上されました。

料理に使う片栗粉は、もともとこのデンプンのことですが、少ししか取れないため、近頃ではジャガイモやサツマイモのデンプン粉が使われています。

自生のカタクリから取れるデンプンは、昔体力の弱った人の下痢止め作用がありましたが現在のデンプンは薬用にならず料理用に使われています。

各地のカタクリ自生地では4月上旬、美しい花を愛でる「カタクリ祭り」が開催されます。

カタクリ自生地の安芸高田市向原は広島県の南限です。地元の人々がよく手入れをして、毎年たくさんの人々でにぎわっています。(上村)



カタクリの花

昆虫の話

地味な春一番・テングチョウ

早春の、まだあまり虫を見かけない時期に呉娑々宇山へ登ると、日の当たる場所で茶色の小さなチョウをよく見かけます。近づいてよく観察すると、頭にとがった鼻のようなものが突き出しています。その名もテングチョウ。春、もっとも早くから活動を始めるチョウです。

テングチョウは2~3 cmほどの小さなチョウで、幼虫はエノキの葉を食べます。そのため、エノキの生えている森林や山でよく見られます。このチョウの特徴は、何ととってもその長い

「鼻」です。これは実際には鼻ではなく、口を覆っているパ
ルピという器官が長く伸びたものです。この「鼻」を、天狗
の鼻になぞらえてテングチョウという名前が付けました。一
方、翅の色は地味で、表面は茶色にオレンジと白の模様
が入り、裏面は茶色一色です。この地味な翅の色は、ある
ことに役立っています。テングチョウは良く地面にとまりま
すが、この際翅を閉じていると、枯れ葉に紛れて敵
に見つかりにくいのです。



アセビの花にとまるテングチョウ

テングチョウは春一番に現れるチョウですが、これにはこの種のある習性が関わっていま
す。なんとテングチョウは、成虫のまま夏と冬に眠るのです。テングチョウの卵は春、芽吹い
たばかりのエノキに産み付けられます。幼虫はエノキの若葉を食べて成長し、6月には成虫
になります。その後、暑い夏の間は物陰で夏眠して過ごし、秋に涼しくなると再び活動しま
す。そして冬になると再び物陰へかくれて冬眠を行い、春一番とともに飛び回るのです。
もし春の山でテングチョウ見かけたら、去年の春に生まれ、夏と冬を乗り越えてきたチョウな
のだと、思い出してください。(市森林公園こんちゅう館 逸見)

小さな世界 こけ

コケが観察できる場所(5)

第3駐車場入口付近でコケを観察してみましょう。

入って右手すぐの土手に、ホソバオキナゴケに混ざっていくつかの群落があります。
まず、イクビゴケが見られます。

イクビゴケは、山地の日陰でやや乾いた斜面などに群生します。

胞子体をつけていない葉は、幅広く、先に短い突起
があります。胞子体を包む葉(苞葉)は、葉先が長く伸
びています。

柄が短いため、米粒のような蒴は葉の間に埋もれ、
毛に包まれているように見えます。これを猪の首に見
立てたのが和名の由来です。

そこから約 5m 奥に進むとススキゴケが見られます。
遠くから見ると緑色の藻の様ですが、ルーペを使っ
てよく見ると、細く柔らかい葉が風になびくように生
えています。

ススキゴケは、やや日陰の、山地の斜面に黄緑色の
群落を作ります。葉は、長さ 4 mm くらいと小さく、柔らか
く細いため目立ちません。

胞子体の柄は約 3 cm と長く、はじめ直立しますが、し
ばらくすると垂れ下がります。

柔らかく下がり気味の葉や、垂れ下がった胞子体を
ススキに見立てたのが和名の由来です。(山根)



イクビゴケ



ススキゴケ

研修会のご案内

- 4月 8日(水) 『春の写真教室～春を写そう～』
散策路を歩きながら植物の撮影を学びましょう
※ 要予約 (先着 20 名)、無料、カメラ持参
10:00～12:00 学習室 集合
講師: 二科会会員
中止 宗岡 泰昭
- 4月 10日(金) 『4月の自然探勝～春はあけぼの～』
散策路を歩きながら植物を観察しよう
※ 自由参加、無料、ルーペ持参
10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師: NFK文化センター
中止 アシスタント 上村 恭子
- 4月 12日(日) 『山菜教室～正しく見分けておいしく食べよう～』
山菜についての講義のあと山菜料理を試食します
※ 要予約 (先着 30 名)、材料費 200 円
10:00～12:00 学習室 集合
講師: 森林インストラクター
中止 長井 稔
- 4月 16日(木) 『藤ヶ丸～立石山 縦走トレッキング』
距離約 4 km、標高差約 270m に挑戦します(健脚向け)
※ 要予約 (先着 20 名)、無料、弁当・飲み物・雨具等持参
(雨天中止)
10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師: 緑化センター 職員
中止

☆お知らせ・ご案内☆

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、予定していたイベント、研修会等を中止することがあります。ホームページ、SNS、お電話でご確認ください。

・春のおでかけキャンペーン ～5月24日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!

・さくら祭り ～4月19日(日)
さくらクイズに答えて景品ゲット
期間中、早咲から遅咲きのサクラ約 50 種類が楽しめます。

・さくら祭りお楽しみイベント (レストハウス前広場ほか)
4月5日(日) 10:00～15:00
中止



さくら祭り

◎ 展示会

場所:

学習展示館

・緑化センターの桜写真展 3月14日(土)～4月19日(日)

レストハウス

(ガラスケース展示)

・折り紙作品展 4月11日(土)～4月30日(木)



緑化センターの桜写真展

～ 森林公園 イベント情報 ～

4月26日(日) 12:00～15:00

トリプルコンサート

場所; (芝生広場)休憩所

子どもから大人までみんなで演奏を楽しもう